

**質問書に対する回答**  
**首都圏中央連絡自動車道 芝山工事**

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	設計図 跨高速道路橋下部工 38/55 39/55	設計図38/55 A1橋台裏込め工詳細図1-1で裏込め工の幅が10,700ですが、設計図39/55 A1橋台土留工詳細図 平面図C-Cでは鋼矢板間が11,400です。 どちらの幅が正しいのでしょうか。ご教示下さい。	A1橋台裏込め工の掘削幅は、設計図38/55に示す10,700です。 鋼矢板間の幅は、設計図39/55に示す11,400です。
2	設計図 跨高速道路橋下部工 38/55 39/55	設計図38/55 A1橋台裏込め工詳細図1-1で裏込め工の幅が10,700ですが、設計図39/55 A1橋台土留工詳細図 平面図C-Cでは鋼矢板間が11,400です。 鋼矢板の間隔は10,700ではないでしょうか。ご教示下さい。	鋼矢板間の幅は、設計図39/55に示す11,400です。
3	設計図 跨高速道路橋下部工 39/55	断面図A-Aに構造物堀削時の法尻の位置が明記されていませんので、法尻の位置をご教示下さい。	構造物堀削時の法尻の位置については、設計図書を参考に貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	数量明細書(1/27) 2-(6) 構造物堀削	構造物堀削 特殊部Aは437.2m <sup>3</sup> ですが636.3m <sup>3</sup> ではないでしょうか。確認をお願い致します。	入札公告(説明書)6-12.⑦(4)に示すとおり、閲覧資料に関する質問は受け付けていないため、お答えできません。 本工事の設計数量については、設計図書に記載の数量を正としてお考えください。
5	設計図 本線 7/89	設計図 本線7/89に15号調整池の旗揚げがありますが、本工事に含まれる場合は設計図、数量をご提示願います。	15号調整池については、本工事には含まれません。
6	特記仕様書 21-12-3 構造物取壊し工	アスファルト舗装版取壊し(TypeA)、アスファルト舗装版取壊し(TypeB)はアスファルト舗装版のみ取壊し、路盤材は残すのでしょうか。ご教示下さい。	そのとおりお考えください。
7	金抜設計図 7-(1) 基礎杭	基礎杭の設計数量が、Φ1.200で276m、Φ1.500で143mとなっていますが、これは堀削長の合計だと思われます。設計数量は杭長の合計ではないでしょうか。	本工事における基礎杭の設計数量は、掘削長の合計です。